

地学と切手



ベルギーの
イグアノドン
骨格切手

P. Q.

1966年3月31日ベルギーでは科学振興のため8種の切手を発行した。雪の結晶からサテライトに及んでいるがそのうちのひとつにベルギー王立科学博物館にある *Iguanodon bernisartensis* の骨格がある。

恐竜研究の歴史をみるとイグアノドンはもっとも初期に記載命名されたものである。それは1825年マンテルによるものでバックランドのアロサウルスに次ぐ。その後イギリスとアメリカで研究が行なわれて来たが1877年にアメリカにおいてマーシュとコープによる競走的研究が始まり1878年にベルギーのベルニサルにおいてイグアノドンの発掘が始まった。

1878年ベルギーのカーボネイジ・ド・ベルニサルという石灰鉱山で地下332mの新坑道を掘削していた従業員達は無数の大きな化石の骨にぶつかった。この知らせは会社からブリュッセルの王立科学博物館にとどき博物館は発掘のためにドウ・ボウを派遣した。彼は坑夫生活をしながら発掘を3年にわたって指揮し無事発掘に成功した。彼らは困難な状況のもとで不自由な姿勢で暗いランプの光をたよりに作業をし入

念な調査と記載が行なわれた。

イグアノドンは下部白亜系の挟炭層を浸蝕した峡谷状の地形を埋めた堆積物中に保存されていた。恐らく狭くて深い峡谷の中に比較的短期間の間に恐竜がすべり落ちて死に洪水でたまった泥に埋ったものと推察された。ベルニサルのイグアノドンはそれまでの断片的な状態で保存されていたものではなくて大部分が埋められた時の状態で関節がつながったままで保存されていた。そのためにそれまで鼻のツノと考えられていたものが親指の爪の根もとであることが判明したりした。

ベルニサルのイグアノドンはルイ・ドローによって徹底的に研究された。彼はフランスのリールで土木を専攻したが彼の関心はむしろ地質学と動物学にあった。1882年彼はイグアノドンを研究するためにブリュッセルに行き1886年にはベルギー市民になった。1891年には博物館長に指名され1909年ブリュッセル大学の教授になった。彼はイグアノドンの形態のほかに生態や習性にも注目しイグアノドンと共に生存していた他の動物をも記載した。そのため彼の研究を基礎として他の研究者がさらに研究を進めたため現在では白亜紀初期の北フランスからベルギー南部イギリスにかけての古地理が再現されている。それはこの地域は北部大陸から南方の大テチス海に開いている一大デルタを構成し熱帯性の環境にあった。大地は羊歯類で覆われ松が繁り池や川には鱉海亀蛙がいた。その中で草食恐竜のイグアノドン肉食のメガロサウルスがし歩いていた。

現在の王立科学博物館には11体の立っている骨格をはじめとして20いくつのイグアノドンの完全骨格部分骨格がずらりと並んでいる。これは世界に類をみない一種類の恐竜の群であり恐竜の研究史の上で果したベルギーの役割りを示している。

[42頁からつづく]

4.4 地質見学

地質見学の詳細は別途報告する予定でありここでは概要のみふれておく。

地質見学のコースはワシントン州シアトルからオレゴン州をへてカリフォルニア州サンフランシスコ地域にいたるアメリカ西海岸である。案内役は本地域の第三紀層の研究を30年間続けこのフィールドの権威者として知られる Parke D. SNAVELY 部長自らが務めてくれた。

最初 まずワシントン州およびオレゴン州西部の第三紀層の地質とオレゴン州南部からカリフォルニア州北部地域の中生層の地質をそれぞれ見学する機会が与えられた。ワシントン州オリンピック半島では前期始新世の海洋性地殻の上に横たわる中期始新世から後期漸新世までの時代の深縁辺海の堆積岩を見学しとくにこれらの特徴づけるタービダイトと細層理状の細粒砂岩およびシルト岩からなる堆積岩層に注目した。本地域の沿岸

帯および大陸棚の構造発達史が重力および磁気探査など地球物理学的データの地質構造解釈への応用プレートテクトニクスとの関連付けによって説明された。オレゴン州西部ではオリンピック半島の深縁辺海堆積盆と対照的に陸棚堆積環境に堆積した堆積岩と火山岩を見学した。オレゴン州南部およびカリフォルニア州北部では中生代フランスカン層群を構成する複合岩石群を見学これら岩石の構造型式をオリンピック半島のメランジュ相のそれと比較した。

サンフランシスコ南のサンタクルス山塊においては1906年のサンアンドレアス断層の跡に沿って地形・地質を見学環境地質学の問題についての討論も行なった。

以上のような地質見学や非公式の会合での討論を通じこれら陸上部の構造・層位の詳しい知識が大陸棚・斜面から得られる地質・地球物理のデータのより良い解釈とそこにおける海底鉱物資源の賦存可能性の評価に際して非常に重要であるということで意見が一致した。

(筆者は 海洋地質部)